

子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）の化学物質分析加速化事業



【令和5年度補正予算（案） 600百万円】

化学物質のばく露等による子どもへの健康影響を明らかにするエコチル調査において、特に懸念される有機フッ素化合物（PFAS）について生体試料の化学分析等を加速化し、安全・安心な環境の早期実現等を図ります。

1. 事業目的

約10万組の親子の協力のもと実施しているエコチル調査で採取された生体試料について、健康への影響に関して科学的知見の集積が求められている有機フッ素化合物（以下「PFAS」という。）について生体試料の化学分析等を加速化し、化学物質による子どもの健康への影響の解明を進め、安全・安心な環境の早期実現等を図る。

2. 事業内容

- 約10万組の親子の協力のもと実施しているエコチル調査において、生体試料の化学分析等を加速化し、その影響を解明することで、安全・安心な環境の実現を目指すもの。
- 本事業では、PFASについて生体試料の化学分析を実施する。PFASは、健康への影響に関して科学的知見の集積が求められており、ばく露量とその健康影響の評価が急務となっている。
- さらに、PFASを含む化学物質の健康影響を正確に評価するためには、遺伝要因を加味する必要がある。PFASの健康影響の分析の加速化のため、遺伝子解析を加速化する。

3. 事業スキーム

- 事業形態 運営費交付金
- 交付先 国立環境研究所
- 実施期間 令和5年度

4. 事業イメージ

● PFASの化学分析

国内の子どものばく露状況は必ずしも明らかでなく、影響について評価が急務

● 遺伝子解析

化学物質の健康影響を正確に評価するために、遺伝情報を加味する必要性

化学物質の健康影響に関する分析を加速化

化学物質による子どもの健康への影響の解明が進み、安全・安心な環境の早期実現に貢献